

<山行記録>

稲村ヶ岳 (1,726 m)

日 時 : 2012. 12. 12 (水) 曇一時晴

岡本 (単独)

8:50 母公堂→9:05 尾根道→9:50 法力峠→11:35 山上辻→12:10 大日山分岐→13:00 引返し点  
→13:40 山上辻 (休憩 14:00 発) →15:05 法力峠→15:34 母公堂分岐→15:41 母子堂

山は昨日までは大荒れだったが、今日は、久々の好天の見込み、試しに大峰へ向かう。スノーシューを持って行こうかと思っただが、今年買ったアイゼンの調子をチェックしたかったので、スノーシューは持たずに出た。新雪なので、アイゼンの利き具合というより、靴や足に合うかのチェックだけだ。スノーシューは、まだこの時期なので雪も大したこと無いだろうと思った。

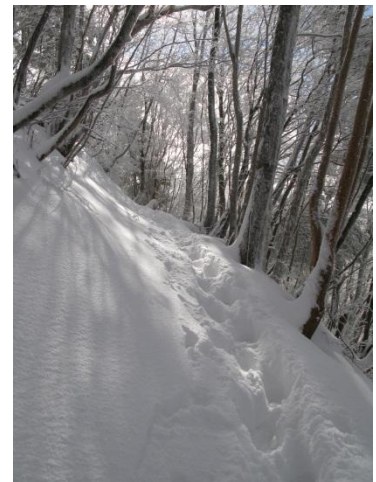
朝7時に家を出る。天川村に入る手前から道端に雪が残っている。川合から洞川へ向かう道は積雪で要チェーンとなっているが、当方は四駆でスタッドレスタイヤに装着済みで、スイスイ走って行く。何時もの母公堂の前に車を置くが、既に車が3台ある。これで少し楽が出来ると安易な気分で出発する。

9時前に登り出すが、雪が意外に多い。洞川温泉からの登山道の合流点辺りでもスノーシューが欲しい気分になって来る。しかし、前を歩いているグループもあり、法力峠までは無積雪期の10分余りの遅れで済んだ。これだと山上辻まで1時間強



で行けるかと思っただが甘かった。踏み跡はしっかりしているものの、雪は普通で20cm位は沈み、雪溜りでは膝近くまでくる。あまり意味は無いが、ここでアイゼンを装着する。

大日山が見えてきたが、思った以上に雪が深い。前に行く一人に追いついたが、丁度ワカンをつけているところだ。この辺りで30cmは沈む。何とか30分程度の遅れで山上辻に出る。いつもだとここから山頂まで30分程度だ。16時までの下山であれば、まだ1時間半は歩ける。前



に数人歩いていることもあり、何とか頂上まで行けるかと思い、直ぐに出発する。

歩き出すと、突然に雪が深くなる。踏み跡はあるものの、膝近くまで雪がくる。中々進まない上、所々で膝を大きく上げざるを得ず、時々アイゼンがスパッツに引っ掛かる。同じ12本爪でも前のアイゼンなら大丈夫なのに、新調のスパッツが2箇所も裂けた。普通に考えればワカンかスノーシューを持って来るべきだったのに、少し後悔する。そのうちに一番心配していた大日山のトラバース道に入る。掛かりの岩場は通常のコース



であるが、途中から少し下り迂回しているようだ。真っ直ぐ行こうかと思ったが、滑ると這い上がるのが大変なので踏み跡通りに行くことにした。

暫く行くと大日山への登り口との分岐がある。そこに屈強そうな3人のメンバー立ち止まっている。聞くと、時間的に今から稲村ヶ岳へ行くのは無理との判断で引返すようだ。これで大分思惑が狂った。しかし、雪が無ければここから頂上まで15分か20分程度なので、取り



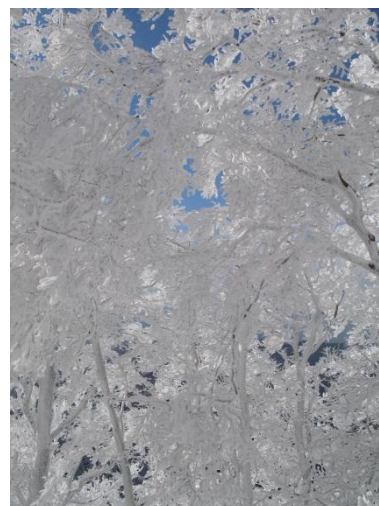
あえず行けるところまで行くことにした。

久々のラッセルだ。少し急になるので、ストック2本で雪を押しさえながら進んでいく。その先に鎖のサポートがある登りがあるが、道が完全に塞がれている(左)。枝の雪を払い、四つ這いになり雪を押しさえして進んでいく。今度はアイゼンが冬用のゴアテックスの太股の内側部分を裂く。何とも悲しい気分で雪を搔く。



道の場所は大体分かっているのだが、雪が腰近くまで迫り思うように進めない。目処の時間が迫ってくる。結局、雪が無ければ10分も掛からない場所まで辿り着くが、これ以上時間的には無理だ。45分程度のラッセルで丁度良い汗を流したと、諦めながら山上の辻へ引き返す。

下山を始めると、天気も少し良くなってきた。後は景色を楽しむだけと思いつつ、スパッツ2箇所、ゴアテックス2箇所の裂け後を眺めて、少し後悔の念に駆られる。



以上